

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業 種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費 <small>(内用地補償費)</small>	億円
		通常砂防事業 <small>せいじろう</small> 清次郎川	津名郡一宮町 <small>とおだ</small> 遠田		約2.4 <small>(約10百万円)</small>
所在地				着工予定年度	完成予定年度
津名郡 一宮町 遠田				H15年度	H18年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進み土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を整備して地域住民の人命・財産及び災害弱者関連施設である保育園を保全する。			・砂防堰堤工 2基 { 透過型堰堤 (H = 9.0m , L = 29.7m) 透過型堰堤 (H = 9.5m , L = 41.4m) ・床固工 4基		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		・清次郎川は土石流危険渓流である。 ・流域状況は、近年の降雨で荒廃が進んでおり、土石流対策としては整備率35%と低い水準にある。 ・保全対象：人家 = 13戸、公共施設 = 町道、公民館 災害弱者関連施設 = 保育園			
地域の活性化		・砂防堰堤工事及び床固工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。			
快適性・ゆとり		・堰堤工設置により土石流を止め、床固工により渓床安定を図り、下流域への土砂氾濫を防止することにより安全で快適な生活空間を提供する。			
その他		・地元からの事業化への要望が強い。 ・過疎対策法対象町に該当し、砂防堰堤工の整備により地域間格差の是正に寄与する。			
(2)有効性・効率性 有効性		・人命・財産(人家13戸)、町道、公民館のほか災害弱者関連施設である保育園が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。			
効率性		・地元からの要望が強く、町等の協力体制があるので円滑な事業執行が可能である。			
(3)環境適合性		・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 ・透過型堰堤の採用により、渓流の上下流の連続性を確保し、生態系の保全に努める。			
(4)優先性		・土石流の想定被害区域には人家13戸、町道、公民館及び災害弱者関連施設である保育園がある。 ・流域の荒廃が著しく進んでおり、土砂災害の危険性は高い。 ・このため遠田地区の人命・財産の保全のために早急な対策が必要である。			